

2台のピアノの夕べ

セミ・クラシックとサン＝サーンス

SOIREE MUSICALE

DEUX PIANOS

DEMI-CLASSIQUE ET C. SAINT-SAENS

2001年6月2日(土) 19:00

トモノホール(市ヶ谷)

第一部 2台ピアノによるセミ・クラシック

1. コール・ポーター・メドレー COLE PORTER MEDLEY

*コール・ポーター(1892-1964)は、ハーバード大学で法律を学んだのち音楽家に転身し、ポピュラーソング、ミュージカル、映画音楽を手掛け、殊に、ブロードウェイミュージカルでは米国民を魅了し、一世を風靡した。米国では広く知られているナンバーのメドレー。MIKE KOCOUR 編曲。
(EASY TO LOVE - I LOVE YOU - I GET A KICK OUT OF YOU)

2. ナザレー：コンフィデンシヤス E. NAZALETH: CONFIDENCIAS

*エルネスト・ナザレー(1863-1934)は、ブラジルのポピュラー音楽の草分け的存在で、多数の親しみやすいタンゴやワルツは、ナザレー自身のすぐれたピアノ演奏とあいまって、庶民の熱烈な支持を集めた。かのヴィラ＝ロボスも、ナザレーへの敬愛は深く、名作「ショーロス第1番」をナザレーに捧げ、「ナザレーの曲こそ、ブラジルの魂を体現するものだ」と語った。CONFIDENCIAS はミディアムスローのワルツで、すでにピアノ独奏曲として有名だが、これに、後世のミニョーネ F. MIGNONE が第2ピアノパートを付加したことで、ピアノソロの原曲のよさがまた新たに引き立つようである。

3. R. R. ベネット：組曲 RICHARD RODNEY BENNETT: FOUR PIECE SUITE

- I SAMBA TRISTE
- II COUNTRY BLUES
- III RAGTIME WALTZ
- IV FINALE - TEMPO DI HARD ROCK

*リチャード・ロドニー・ベネット(1936-)は、現代英国の大作曲家。この多才な音楽家の活躍ぶりは、一口に言えないほど広く、前衛的作品を発表する一方で、クラシックとジャズの双方をこなすピアニストとしても一流、「オリエント急行殺人事件」「遙か群集を離れて」など映画音楽も多数手掛けている。この「組曲」(1974年)では、ボサノバ(第1曲)、ニューオリンズの雰囲気の色濃いR&B(第2曲)、ラグタイム王スコット・ジョプリンを称えたラグタイムワルツ(第3曲)、ツェーベートのロック(第4曲)など、いかにも手慣れたところを見せている。

演奏： 西原・益子(1, 3) 川崎・藤田(2)

第二部 サン＝サーンスの2台ピアノ作品 (II)

カミーユ・サン＝サーンス CAMILLE SAINT-SAËNS

1835年パリに生まれ、1921年アルジェに没す。フランス近代音楽の開祖。

代表作「動物の謝肉祭」「交響曲第3番(オルガン付き)」など。あらゆるジャンルに作品多数。

4. アラブ綺想曲 作品96 CAPRICE ARABE OP. 96

*サン＝サーンスの、アラブ・アフリカ地域への愛着はひとときわ深く、初期の、スエズ運河開通記念「東洋と西洋」から、最晩年の「アルジェの学生に捧げる行進曲」にいたるまで、アラブ・アフリカを題材とした作品は多数にのぼっている。この「アラブ綺想曲」(1894年)は、2台ピアノオリジナル作品で、特に題名以外に描写的な言葉は譜面にはみあたらないが、旅愁に満ちた音楽からは、砂漠の一夜…夕暮れから夜明けまで…が想起されないだろうか。雄大な星空の下、ラクダにまたがり、時ならぬ砂嵐にみまわれたり、砂漠特有の小動物に驚かされるようなこともあるが、隊商は悠然と歩みをすすめる…というイメージが喚起されるようである。

5. ロマン스 作品49 第4 ROMANCE OP. 49-4

*1863年。原曲は、古典様式に則った管弦楽組曲の緩徐楽章。ガストン・ショワズネルによる2台ピアノ用編曲。歌謡的な旋律が一貫して流れる。この歌謡性は、サン＝サーンス音楽のもつ多様な魅力の一面であるといえる。

6. ヘラクレスの青年時代 作品50 LA JEUNESSE D'HERCULE OP. 50

*1877年。原曲は管弦楽で、サン＝サーンスの交響詩の中でも特に傑出したものとなっている。作曲者自身による2台ピアノ用編曲。春霞に包まれたように安らかで神話的な誕生から、若さにまかせて暴走した日々を経て、やがては岐路に立たされて改悔し、遂には神々の一員たる使命に身を挺する一人前の成年へと成長していく姿を描いた一大絵巻。

演奏：西原・益子(4, 6) 川崎・藤田(5)

演奏者紹介 PLANISTES

西原 昌樹 MASAKI NISHIHARA

1972年 岡山県生まれ. 上智大学卒業. 現在, 会社員.

益子 徹 TETSU MASHIKO

1976年 栃木県生まれ. 宇都宮大学教育学部卒業.

川崎 文彰 FUMIAKI KAWASAKI

1963年 福岡県生まれ. テニス・バレーボールを趣味とするが, 1996年よりピアノを開始.

藤田 徹 TORU FUJITA

1973年 埼玉県生まれ. 東邦音楽大学卒業.

*次回の「2台ピアノの夕べ」は, 2001年10月13日(土) 新宿区立文化センター小ホールにおいて開催予定です. テーマは「アングロサクソンとサン＝サーンス」です. サン＝サーンスのプログラムは全て変わります.

*ご意見・ご感想をお寄せ下さい. お手紙は 〒169-8799 新宿北郵便局留め オフィスPCC 宛.
e-mail は pccpiano@hotmail.com ください.